

令和4年度 住吉区総合防災訓練 実施結果



1 概要

○目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行うとともに、コロナ禍において、各地域が迅速かつ円滑な町会一時避難場所や避難所の開設・運営が行えるように、町会一時避難場所開設運営訓練、避難所開設運営訓練に重点を置いた訓練実施により、行政と住民等の連携強化、地域の総合的な防災力向上を図る。

また、あらたな重点項目として、「女性の視点を配慮した避難所運営」訓練を実施し、さまざまなニーズへの対応力向上を図る。

○日時

令和4年11月12日(土) 9時～12時

○場所

災害時避難所、町会一時避難場所、住吉区役所 他

○参加者

合計：約4,500人(令和3年度：約2,000人、令和2年度：約1,000人)

<内訳>

地域住民 約4,200人、区役所職員150人、住吉区在住の大阪市職員(直近参集者)60人、
その他関係機関 約120人

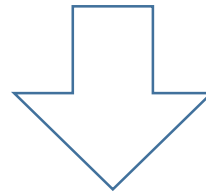
2 令和4年度 住吉区総合防災訓練

地震発生！

⇒9:00 訓練開始！

(町会一時避難場所、災害時避難所に集合)

9:00頃
防災スピーカーから
サイレン吹鳴！



町会災害対策本部の設置訓練
(町会長、町会役員等)

一般の方も参加

1. 一時避難場所に町会本部を設置

集まった参加者へ
訓練の内容と避難場所等について説明

2. 無線通信訓練(地域本部と通信)

3. 安否確認訓練

4. 災害時避難所への避難訓練 **重点**

【その他】

- ・救助資器材の点検、使用訓練
- ・ケガ人や要援護者の搬送訓練(車イス等)
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練(消火器の確認等) など

3 訓練のイメージ

地域災害対策本部の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など
- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など
- 区本部とのMCA無線通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など
- 状況付与への対応訓練

地活協役員
及び防災
リーダー等

避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請 など

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 避難室の設置、看板等の設置・表示
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

4 災害時避難所の開設・運営

重点

地域災害対策本部の設置訓練

地活協役員
及び防災
リーダー等

避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など
- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など
- 区本部とのMCA無線通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など
- 状況付与への対応訓練

【その他】

- ・ 避難支援・誘導訓練 など

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 避難者数の確認 ・ 物資、救援要請など

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 部屋のしつらえ、看板等の設置・表示
- 避難者の部屋への誘導(避難所見学対応)
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で区分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

【追加重点項目】

女性の視点を
踏まえた
避難所運営

5 区災害対策本部の設置・運営訓練

区災害対策本部の設置・運営訓練

1. 本部設置・情報収集・伝達訓練(庶務班)

- 区災害対策本部の設置(4階大会議室)
- 地域本部とのMCA無線通信訓練
- 防災情報システム通信訓練
- ボランティアセンターとの無線通信訓練
- 広報訓練(twitter)

2. 災害時避難所での受入れ(避難受入班)

- 地域と連携した避難所開設訓練

3. 被災者の医療救護、 区医師会等との連絡調整(保健福祉班)

- iisumiによる情報収集
- 福祉避難所とのデジタル無線通信訓練
- EMISへの登録訓練

6 避難所開設訓練状況

● 地域が開設 21箇所

▲ 職員のみで開設 11箇所

— 開設せず(使用不可) 5箇所

災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設
墨江小学校	●	大領中学校	—	浪速中学校・高等学校	—
清明学院高等学校	—	帝塚山学院(第2体育館)	—	苅田小学校	●
住吉武道館	●	長居小学校	●	苅田南小学校	●
清水丘小学校	●	大阪学芸高等学校	▲	阪南高等学校	●
墨江丘中学校	▲	長居幼稚園	▲	我孫子中学校	▲
英明幼稚園住吉	●	依羅小学校	●	苅田北小学校	●
遠里小野小学校	●	大阪公立大学(第2体育館)	▲	東我孫子中学校	▲
大和川中学校	●	我孫子南中学校	●	教育センター付属高等学校	▲
英明幼稚園遠里小野	▲	南住吉小学校	●	大阪府教育センター	—
東粉浜小学校	●	大空小学校	●	錦秀会住吉区民センター(コロナ指定避難所)	▲
住吉中学校	●	三菱中学校	●	住吉区老人福祉センター(コロナ指定避難所)	▲
住吉小学校	●	山之内小学校	●		
大領小学校	●	府立大阪南視覚支援学校	▲		

7 iisumiについて

▶各施設（病院、クリニック、薬局、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所）がスマホ等で被害状況等を入力することにより、区災害対策本部で情報の一括収集を迅速に行い、以降の支援計画の検討に活用!!

【イメージ】



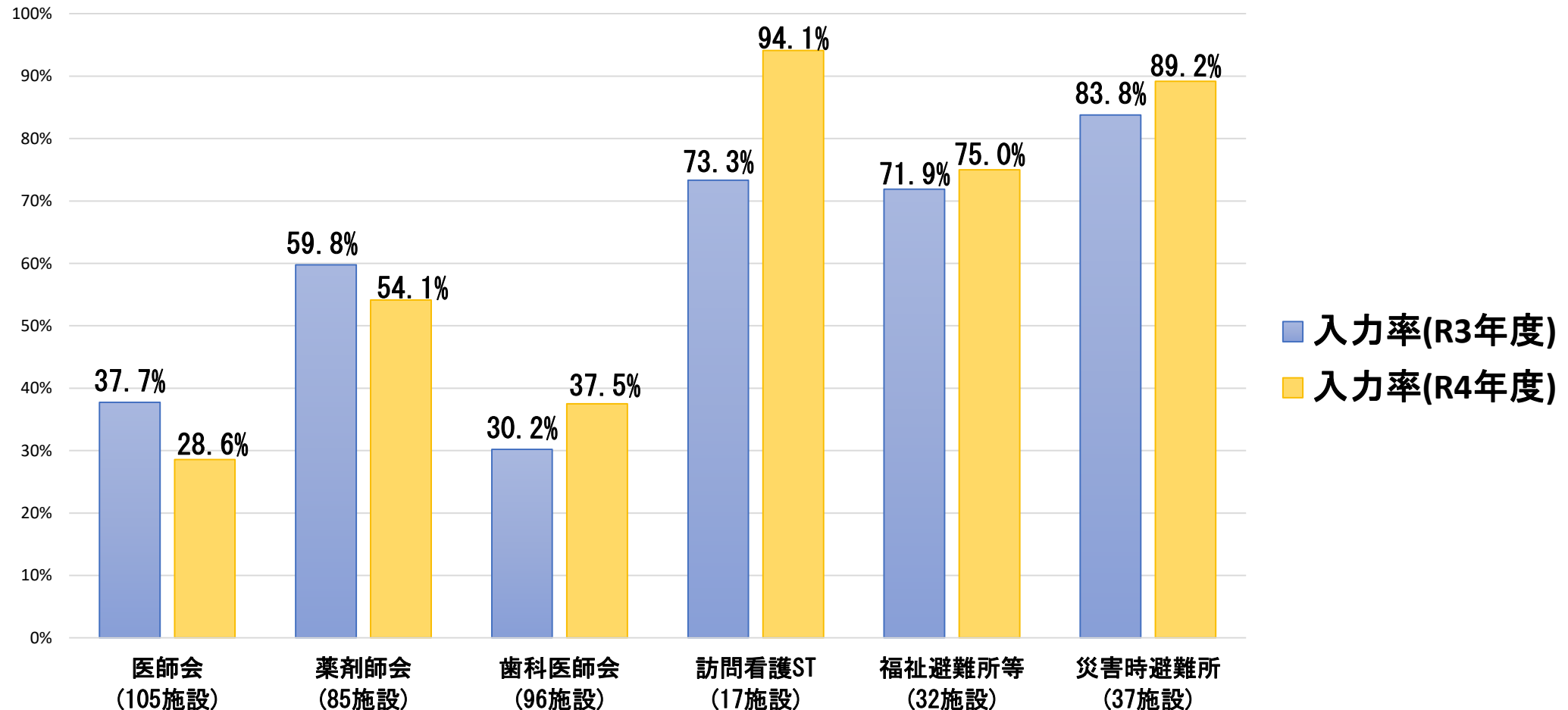
7 iisumiについて

【登録内容等の概要】

団体	iisumi登録施設数 (計368)	登録内容									
医師会	105	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
薬剤師会	85	開局状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
歯科 医師会	96	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
訪問看護 ST	17	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	全利用者数 (実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
福祉 避難所	32	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	利用者定員 (実数)	受入可能 人数(実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)
災害時 避難所	37	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	冷暖房 (可・不可)	食料 (充足・不足)	トイレ (充足・不足)	最大避難 受入可能数	避難者数／ 有症状者／ 要配慮者	職員数 (充足・不足)	

7 iisumiについて

【iisumi入力率(令和4年度総合防災訓練)】



8 訓練協力関係機関

機関名称	連携・協力内容
大阪急性期・総合医療センター	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
住吉区医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区薬剤師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区歯科医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区内訪問看護ステーション	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
福祉避難所・緊急入所施設	●無線通信訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区社会福祉協議会	●無線通信訓練
大阪市環境局	●太陽光発電設備の仕組みと災害時の利用方法の説明

9 訓練の様子(町会一時避難場所)



受付の設置



応急救助訓練(毛布担架)



応急手当訓練



応急救助訓練(ジャッキ)

10 訓練の様子(災害時避難所)



避難所開錠



備蓄倉庫の確認



地域災害対策本部の開設

10 訓練の様子(災害時避難所)



無線通信訓練



一般避難者スペースの設え



簡易テントの組立(療養者スペース)



女性の視点を踏まえた避難所運営
(物資保管場所やプライバシー確保)



簡易トイレの組立



発電機の確認

10 訓練の様子(災害時避難所)



電気自動車による給電訓練

11 訓練の様子(区災害対策本部)



広報担当(ツイッター等)



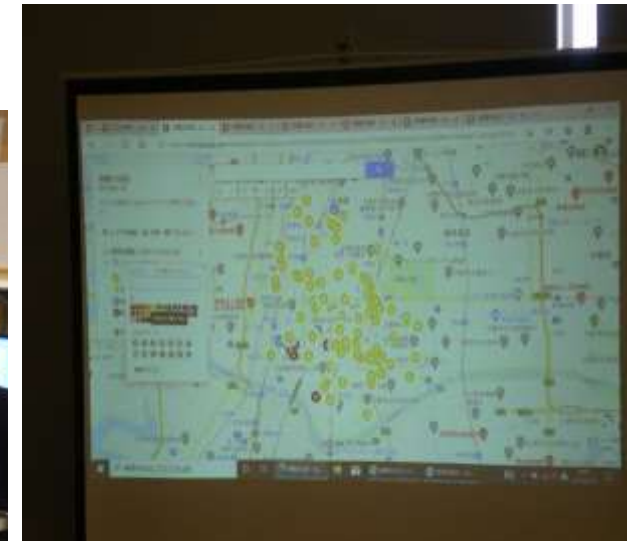
無線担当



防災情報システム(市との情報共有)



iisumi担当(保健福祉班)
(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護ステーション、福祉避難所、
災害時避難所から集約した情報をマッピングし可視化)



11 訓練の様子(区災害対策本部)



保健福祉班

(収集した情報をもとに救護所設置箇所等の検討及び記録の実施)



庶務班

(収集した情報をもとに被害状況等の集約及び記録の実施)

アンケート結果

回答者数: 589名 (災害時避難所で配布)

【世代別】

【性別】

男 性: 263名

女 性: 319名

未回答: 7名

世代	人数(名)	世代	人数(名)
10歳代未満	3	60歳代	124
10歳代	25	70歳代	218
20歳代	3	80歳代	69
30歳代	13	90歳代	1
40歳代	43	未回答	23
50歳代	67		
合計			589

Q1 . 訓練当日9時の防災行政無線からの放送とサイレンは聞こえましたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	聞こえた	42. 7%
2	聞こえたが放送内容は分からなかった	38. 8%
3	聞こえなかった	18. 5%

Q2 . 訓練に参加したきっかけを教えてください。

	選 択 肢	回 答 率
1	町会役員だから	64. 8%
2	役員の声かけ	12. 4%
3	ポスター、チラシを見て	12. 7%
4	ご近所の声かけ	5. 3%
5	その他	4. 8%

Q3 .あなたは、一時避難場所がどこかご存知でしたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	以前から知っている	89. 1%
2	今回の訓練で初めて知った	9. 4%
3	知らない	1. 5%

Q4 .あなたは一時避難場所と災害時避難所の違いをご存知でしたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	以前から知っている	74. 4%
2	今回の訓練で初めて知った	20. 6%
3	知らない	5. 0%

Q5 .今回の訓練内容や自助・共助の重要性について理解できましたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	理解できた	64. 0%
2	概ね理解できた	33. 8%
3	あまり理解できなかった	1. 9%
4	全く理解できなかった	0. 3%

Q6 .災害時に備えて家庭内で備蓄ができていますか。

	選 択 肢	回 答 率
1	できている(7日分)	12. 1%
2	概ねできている(3日分)	34. 9%
3	あまりできていない(3日分未満)	45. 5%
4	全くできていない	7. 5%

Q7 .女性の視点を踏まえた避難所運営を行うために必要なこと(もの)は何だと思いますか。

【スペース】

- ▶ トイレの充実
- ▶ プライバシーの確保(男女のスペースの分離や仕切り等)
- ▶ 更衣室の確保
- ▶ ごみ置き場などの具体的なシミュレーション
- ▶ 女性が使用する日用品の配布場所は男性の視線が入らないようにする。

【物資】

- ▶ 乳幼児用品(粉ミルク、おむつ、離乳食)の充実
- ▶ 女性用品(生理用品等)の充実

【体制】

- ▶ 女性専門の悩みを相談できる体制。
- ▶ 運営の意思決定する立場に女性が増えること。
- ▶ 役割を性別で決めない。(炊出し、掃除は女性など)

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【良かった点】

- ▶ 役員の方の説明が分かりやすかった。
- ▶ 実際に災害が身近に感じられ、家具等の転倒防止を本格的に考える必要性にせまられた。
近いうちにホームセンターに防災グッズを見に行こうと思った。
- ▶ AEDや発電機等の使用方法を確認することができた。
- ▶ 年に1回はこのような訓練が必要だと思った。
- ▶ 備蓄倉庫の確認ができて良かった。
- ▶ 安否確認のタオル掛けはかなり普及していた。
- ▶ 実際の防災用品の組立など体験することができた。
- ▶ 町会での協力体制を確認することができた。繰り返し行うことが重要。
- ▶ 無線通信訓練がスムーズにできた。
- ▶ 一時避難場所で救助方法を実演したことで参加者の防災意識が高まったと思う。

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
1	防災スピーカーからの音声聞き取りにくかった。	・遮音性の高い住居や高層建築物の増加、騒音の影響などといった都市部を取り巻く環境によって、音が伝わりにくい状況になっています。 ・地震、津波、弾道ミサイル等による武力攻撃といった緊急事態の種類によってサイレン音のパターンを区別するなどに取り組むとともに、音声聞き取れなかった場合には防災行政無線テレホンサービス(06-6210-3899)で放送した音声を聞くことができるようにしています。(通話料がかかります。) ・災害発生時には防災スピーカーだけでなく、「大阪市防災アプリ」や「おおさか防災ネット」など、多様な情報伝達手段を用いて災害情報を伝達することとしており、皆様に様々な方法で必要な情報が確実に伝わるよう、引き続き、情報伝達手段の多様化に努めてまいります。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
2	指示できる人が少ないため、多くの人ができるようにする必要がある。	・ 避難所運営委員会の組織（役割名簿）について未設定の地域に対して、あらかじめ作成していただくよう改めて周知します。 ・ より有効な総合防災訓練となるよう、引き続き事前の模擬訓練を実施するとともに、地域で実施する防災訓練において支援を行います。
3	訓練の周知をもっと徹底する必要がある。 マンネリ化して訓練に参加する人が少なくなった。何か対策が必要だと思う。	・ 区のホームページや広報紙、広報掲示板等で周知を行うとともに、地域においては町会掲示板や町会回覧板等で周知をしていただきました。 ・ 次年度についても状況を注視しながら、より多くの住民に参加していただけるよう実施方法や周知方法等を検討してまいります。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
4	町会役員以外の方が多く参加できるよう、区で工夫してほしい(地元企業への働きかけ等)	・ 次年度については、住吉区内の災害時地域協力事業所(※)と連携した訓練も実施してまいります。 ※災害時に地域のために資源(労務・食料・飲料水・資器材等)の提供、駐車場等の施設の開放など貢献していただける区内の事業所や店舗。 R5. 1現在の登録事業所数 36事業所
5	一斉に避難所に人が来た場合、検温・消毒・受付と混雑したので、改善策を考えたい。	・ 次年度、各避難所に体温測定機能付のオートディスペンサースタンドを配備予定としています。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
6	備蓄倉庫の整理を行い、何がどこに入っているか分かるようにすべきだと思う。	・ コロナ感染拡大防止対策にかかる物資を新たに多数配備した関係により、避難所によっては備蓄倉庫が足りなくなっている。 ・ 地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努める。 ・ 備蓄倉庫内のどこに何が入っているかを表示するなど、備蓄倉庫の整理を行う。
7	各地域から区へのMCA無線は混線するため、区役所に12台必要ではないか。	・ MCA無線の回線については、大阪市全体での回線上限数が決まっているため、増やすことはできない状況です。 ・ 情報連絡については、MCA無線だけではなく、LINEやiisumi等さまざまなツールにおいて実施できるようタブレットの配備を令和4年度から計画的に実施する。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
8	水害に備えて、1階に保管している物資は上階に移動すべきではないか。	・ 大和川氾濫における浸水が想定される避難所においては順次上階への移動を進めています。 ・ しかしながら、避難所によっては上階に保管場所がない等の理由により移動できていない施設もあるため、地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努めます。 ・ なお、場所の確保が困難な場合、水害はあらかじめ想定が可能であるため、水害が発生する想定の数時間前に2階以上に臨時的に移動する等、運用方法の検討も行います。